

平成 28 年 8 月 18 日

鹿児島大学病院 消化器内科 で

慢性肝疾患の治療を受けた患者さんおよびご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

アポトーシス抑制因子 AIM と慢性肝疾患の病態との関連の検討

【研究機関】

鹿児島大学病院
消化器センター 消化器内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院
消化器センター 消化器内科
教授 井戸章雄

【研究の目的】

慢性肝疾患は進行すると肝硬変に至る病態で、その進行の過程で、発がん(肝臓がんの発症)の可能性が高くなっていきます。近年、慢性

肝疾患患者数は増加しており、特にメタボリック症候群と関連のある非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）と診断される患者さんの数が著しく増加しています。

当科では、過去にマクロファージのアポトーシスを抑制する蛋白であるアポトーシス抑制因子 AIM（Apoptosis inhibitor of Macrophage）が C 型肝炎において肝線維化進展と関連する事を報告してまいりました。AIM は脂肪分解に関与することが知られており、メタボリック症候群との関連が示唆されています。

AIM はまだ、ヒトの慢性肝疾患においてどのような役割をはたすのか十分解明されていませんが、肝硬変への進展の程度を測るマーカー、また、肝臓がんの腫瘍マーカーとして有効となる可能性があります。

この研究の目的は、慢性肝疾患の患者さんを対象に、以前頂いた血液を用いて、AIM を測定し、比較をすることで、肝疾患診療における有効性を評価することです。この研究を行うことで、より早期に肝硬変への移行リスクや発がんリスクを予測できるようになる可能性があります。

4. 実施方法および研究協力期間について

過去の血液検査時に頂いた血液（20ml 程度）を用いて、各種検査（生化学検査、線維化マーカー、炎症性サイトカイン、リンパ球の分類検査）を行います。

また、患者さんの慢性肝疾患の原因、年齢、身長、体重、病歴などの背景の情報を検査値と照らし合わせて評価を行っていきます。

この研究は過去に頂いた血液を用いるため、研究に際して、患者さんへの身体的な負担はありません。

この研究は当院の単独の研究です。

●対象になる患者さん

平成 19 年 8 月 17 日から平成 28 年 6 月 30 日までに、鹿児島大学病院消化器内科で慢性肝疾患と診断された患者さんを対象

にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

診療録から以下の情報を利用します。

年齢、性別、身長、体重、病歴、画像検査所見（腹部超音波検査、CT検査）、血液検査値（末梢血検査（血小板数など）、生化学検査（AST、ALT、T-bil、 γ -GTPなど）、凝固検査（PT、APTT）

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患生活習慣病学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。研究費の一部には、企業等からの寄付金が含まれますが、広く学術を振興するためのものであり、この研究を特定したものではありません。また、この研究は研究者が企業とは独立に計画・実施します。この研究に対する企業等からの資金および労務提供はありませんので、この研究において利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

HGF 組織修復・再生医療学講座

特任助教 氏名 小田 耕平

電話 099-275-5326 FAX 099-264-3504